

2024年1月21日

鈴木理事長

参加者 水澤 実

日野市安全安心まちづくり研修会参加報告

日 時 : 2024年1月20日(土) 10:00 ~ 11:30

場 所 : 日野市民会館 ひの煉瓦ホール(小ホール)

- 研修内容 : ● 防災講話 『関東大震災からまなぶ、いまできること、やるべきこと』
東京消防庁日野消防署警防課長 西山
- ・ここ30年以内にマグニチュード7クラスの地震が70%起こること予測されている。
 - ・昨年100年前の関東大震災の体験者の松本ノブさん手記のアニメ動画を上映し、改めて震災の恐怖認識と準備の引き締めが肝心である
 - ・氏から訓練用の機器として、①VR防災体験車②まちかど防災訓練車がある。ただ、台数が少ないので、早めの予約が必要である
- 防犯講話 『市内の犯罪情勢・防犯情報』
警視庁日野警察署生活安全課長 児玉
- ・令和5年日野市の軽犯罪は733件(昨年より124件増)
 - ・犯罪の多くは、自転車・オートバイの盗難、空き巣泥棒、特殊詐欺事件(70歳以上の人が9割)が増加している
 - ・自転車の対策としては、65%が鍵をかけてなかった、その中で自宅での未施錠の60%が被害に遭っている、防止としては2個の鍵をかけることを望む
 - ・昨年度日野市の特殊詐欺事件の被害額は8300万円、ただ、未報告の被害金額は不明
 - ・電話でお金の話やキャッシュカードの話は『詐欺』
 - ・被害にあわない対策として、**知らない電話には出ない**
在宅中も常に留守番電話、自動通話録音機の設置、
ナンバーディスプレイ及びナンバーリクエストの積極的活用
 - ・犯罪発生状況や特殊詐欺の被害に遭わない為の学習コンテンツなど、安全な暮らしを支える為のアプリの活用を望む

- 防犯講演 『特殊詐欺被害防止公演』 劇団 「自然堂」
 - ・オレオレ詐欺、キャッシュカード詐欺盗、還付金詐欺の5名による公演

所 感

- ・新年早々の北陸地方震災もあり、80名位の参加者であった
- ・最初の講話の防災では、1月1日の能登震災の後で、より防災の準備や避難訓練の重要性と2日の羽田空港での日航機炎上での全員脱出、改めて、避難訓練の重要性を強く感じた次第です
- ・防犯の講話では、やはり、自分は特殊詐欺被害には掛からないと思っても被害に遭う、現状を改めて認識をした
- ・この様な防災・防犯の研修は、小生のだけの参加ではなく、他の人にも受講されることを望むのです

以上